

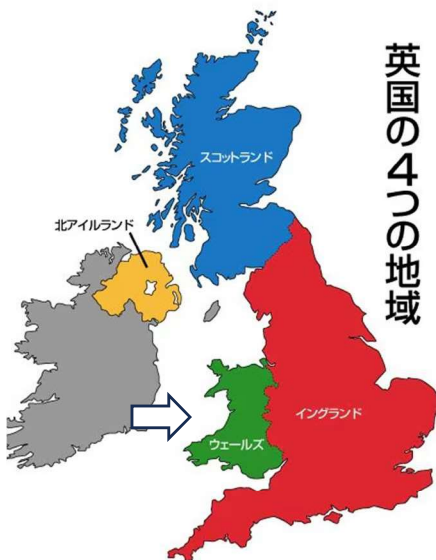


馬い話

ウェールズの「未来世代法」

世界情勢が不安定になり、気候変動も深刻さを増す中、「このままで未来は大丈夫なのか」と不安を抱く人は多いと思います。このような社会状況の中、イギリスのウェールズで2015年に制定された「**未来世代のためのウェルビーイング法**」（通称：未来世代法）は、世界的に注目されています。

この法律は、**今の政策が将来の人々に悪影響を与えないようにすることを、公的機関に義務付けたもの**で、未来の幸福を守るための仕組みが制度として整えられています。



ウェールズは人口約300万人の小さな地域ですが、教育や環境などの政策を自分たちで決められる自治政府を持っています。この法律は、**社会・経済・環境・文化の持続可能性を高めることを目的**とし、すべての公的機関に「**繁栄する社会**」「**健康**」「**平等**」「**安全なコミュニティ**」「**文化の発展**」「**地球への責任**」など7つの目標を掲げています。環境だけでなく、社会全体の質を高めることを重視している点が特徴です。

また、政策づくりの際には、**長期的視点、予防的思考、環境・経済・社会を統合して考える姿勢、行政と住民の協働、住民参加**という5つの原則を守ることが義務付けられています。**短期的な利益に偏らず、未来にとって最善の選択をするための考え方**です。

法律の実行を支える仕組みとして、政策が未来世代に与える影響を監視する「**将来世代コミッショナー**」という独立機関が設置されている点も世界的に珍しく、国連からも高く評価されています。

制定から約10年が経ち、法律は実際の政策に大きな影響を与えています。大規模道路建設計画の中止、公共交通や自転車を重視する交通政策への転換、教育カリキュラムの改革、リサイクル率世界2位の達成など、具体的な成果が生まれています。

この法律が生まれた背景には、石炭産業の急速な衰退による深刻な社会問題の経験があります。短期的な経済政策が地域の未来を壊したという痛みが、「未来世代を守る仕組みが必要だ」という強い動機になりました。

日本でも未来世代への責任をめぐる議論が始まっていますが、国レベルの法制度はまだ無いようです。自治体では少しずつ取り組みが広がりつつあり、今後の発展が期待されます。

「今だけ、自分だけ」を優先しがちになるのが人間の性かもしれませんが、先の見えない今の時代にこそ、私たち一人ひとりが「**未来世代の幸福**」を考えることが求められているのではないかと思います。



<< 2026年新春賀詞交歓会を行いました >>

2026年1月5日、本社、東京支店、新潟支店ほか全6拠点をZoomで繋ぎ、新春賀詞交歓会を行いました。

本年は「創業80周年」という大きな節目を迎える年であり、これまでの感謝と、未来へ向けた組織のあり方を全社員で共有する、熱意に満ちたスタートとなりました。

創業者・長谷川正之助の歴史と創業の精神

冒頭では、長谷川社長より年頭の挨拶が行われました。今年、創業80周年と創業者・長谷川正之助の生誕120周年が重なる節目の年であり、長谷川電気工業所の創業から今日に至るまでの歩みと、時代や地域のニーズに応じて事業を広げてきた歴史が語られました。

「常に新しい技術を取り入れ、お客様に喜んでもらう」という創業の精神をこれからも大切に、学びと挑戦を続けてほしいというメッセージとともに、80年の歩みを支えてきた先達やお客様、取引先様、地域の皆様への感謝が述べられました。

社長からは、これまでの脱炭素支援の実績について説明があり、今後も「新潟県内No.1のエネルギー・サービス」を目指し、サービスのさらなる強化を図っていく方針が示されました。

創業の精神

常に新しい技術を取り入れ お客様に喜んでいただけるものを提供する

私たちは、常に現状に甘んずることなく、より良いものを目指し、新しいものを取り入れ、変化し続ける。

現状維持はない。現状維持を考えた時点で社会から遅れを取っている。

私たちは、常に外に目を向け、市場、顧客、技術、サービスの変化を敏感に察知し、時代に合った価値を提供することを忘れない。



長谷川社長による年頭の挨拶の様子

「人が集まる会社」を実現するための3つの仕組み

坂井専務より安心して仕事ができる「人が集まる会社」を具体化させるための「3つの仕組みづくり」についてお話がありました。

現場管理をチームで行う仕組み	業務を細分化・分担し、一人で悩まず相談し、助け合えるチームワークづくり
人材育成の仕組み	ビデオライブラリ等を活用し、教える側も教わる側も安心できる教育プログラムの整備
安心して仕事ができる仕組み	挨拶や整理整頓、報・連・相といった基本動作を徹底し、互いに高め合える組織文化の醸成

「仕組みを整えることで、社員がより楽に、より前向きに働ける環境を作っていく」という具体的なビジョンが示されました。

「自分に勝つ」強い意志とチームの結束

渡辺常務からは、箱根駅伝で優勝した青山学院大学のキャプテンの言葉を引用し、「最大のライバルは自分である」という心得が共有されました。

また、給水係や記録係など表舞台に立たない役割も含め「全員がチーム」であることの重要性が語られ、改めて社員同士のフォローアップをより一層強化していくことを確認しました。



渡辺常務による年頭の挨拶の様子



大橋副支店長による三本締めの様子

<<あらかわチャレンジ 今年も中学生とLEDで町を彩りました！>>

12月11日、村上市立荒川中学校3年生による「あらかわチャレンジ」の一環として、生徒の皆さんとともにLED装飾を行いました。

本活動は、「地元・あらかわをきれいに彩りたい」「一つのイベントとして町を盛り上げたい」という生徒たちの思いから始まり、オリジナル看板の設置とLEDによるイルミネーション装飾が企画されました。

弊社は昨年につき、本LED装飾活動に協力させていただき、イルミネーションでは「I♡アラカワ」の文字を光で表現しています。

生徒のみなさんは、企画から設置まで一生懸命に取り組み、その思いのこもったイルミネーションが町を明るく彩っていました。

株式会社長谷川電気工業所は、社内のSDGs委員会を中心にLEDの装飾づくり、工事で協力させていただきました。生徒の皆さんとともにあらかわの町を明るくし、地域を盛り上げる活動に参加できたことは、弊社の地域貢献活動としても大変有意義なものになりました。



株式会社長谷川電気工業所
本社
(太陽光発電で作った電力
を使用しています)



いろむすび山菜屋 様



株式会社日本建機 様



村上信用金庫
荒川支店 様

<<2025NIIGATA光のページのカーボンオフセットに貢献いたしました>>

当社が運営する「脱炭素推進協会」は、太陽光発電によるCO₂削減量をJ-クレジットして寄附することにより、「2025 NIIGATA光のページ」をカーボンオフセットしました。

この活動には、「新潟で生まれたクレジットは地元新潟で活用してもらいたい」という地産地消の思いが込められています。

2025年11月14日の点灯式では、長谷川社長より高橋実行委員長へカーボンオフセット証書を贈呈しました。

点灯の瞬間は、会場全員でカウントダウンを行い、光が灯った瞬間には歓声と笑顔が広がりました。冬の新潟を彩るイルミネーションが、地域の人々に温かい光を届けていました。

当社は、脱炭素推進協会の運営を通じて、J-クレジットの創出支援と活用を進め、中小企業や地域の脱炭素化に貢献しております。



カーボンオフセット証書



点灯式典におけるカーボン
オフセット証書贈呈の様子

★★ 新入社員紹介 ★★

この度入社いたしました新しい仲間をご紹介します。



名前 渡辺 哲多
入社日 2025年11月4日
配属 本社工事事業部
出身地 新潟県新潟市
好物 肉

特技 サッカーをすること
趣味 音楽鑑賞
抱負 早く仕事に慣れるよう
精一杯頑張ります。



名前 若林 小鈴
入社日 2025年11月5日
配属 管理部
出身地 新潟県新潟市
好物 たまごスープ

特技 イラスト
趣味 ゲーム配信を見ること
抱負 新しく学ぶ部分と前職の
経験を活かせる部分、
どちらも精一杯取り組ん
でまいります。

新しい仲間と共に、引き続き快適環境づくりと
環境・エネルギー問題の解決を目指してまいります。

各種コンテンツはこちらから！



省エネ・創エネ.com
Produced by Hasegawa Electric Industries.
<https://www.sc-energy.com/>
毎月第1, 2, 4月曜 8時 更新予定



メールマガジン

<https://bit.ly/3YoVNlo>
毎月第1～4火曜8時 送信予定



脱炭素推進協会

<https://datsutanso-kyokai.com/>

太陽光発電で削減したCO2を収益化



～迅速・丁寧な対応で安心をお届けします～



株式会社 長谷川電気工業所

本社
新潟支店
東京支店

〒959-3132 新潟県村上市坂町1760番地1
〒950-0915 新潟県新潟市中央区鏡西2丁目1番1号
〒124-0012 東京都葛飾区立石8丁目1-4 ネクスス立石1階

TEL:0254-62-3161
TEL:025-243-9561
TEL:03-6662-8820

